



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

2010年6月10日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

第175号

編集・発行：情報委員会

2009～10年度テーマ

広げよう！ プロバスクラブの楽しみの『環』

第 175 回例会(移動例会)



(訪問先：筑波宇宙センター) (わが会の会員です)

日時：平成 22 年 5 月 13 日(木)

場所：野外サロンで筑波に向かうバス車中

出席者： 46名 出席率 73%

(会員総数 69名、休会 3名)

1. 岩島例会副委員長の司会で開会

私は、まだ新参者の岩島ですが、委員長に代って司会をさせていただきます。どうぞよろしく、ご協力お願い致します。

2. 杉山副会長挨拶

皆さんおはようございます。

野外サロンに、多数ご参加頂きまして本当に有難うございます。車中例会ですので簡単に進めたいと思います

3. 新入会員紹介

推薦者：永井 昌平 会員

新入会員：山形 忠顯 氏

4. ハッピーコイン報告

杉山会長から 21 件のハッピーコインの報告
(詳細：2 頁)

5. バースデー報告

ハッピーコインの報告に引き続き、5 月のバースデー報告がされました。

今月は、永井、橋本、川村、有泉、阿部(幸)の 5 名の会員でした。池田ときえ会員手作りの美しいバースデーカードが贈られました。

6. 幹事報告 荒 幹事

10 月 17 日八王子市民会館での 15 周年記念事業に対し、市の平成 22 年度「市民企画事業補助金」の交付を受けました。6 月に入り全体の予算が決まりましたら、実務をスタートしたいと思います。全員参加でよろしくお願い致します。

5 月 16 日の市民健康の日フェスタには、プロバスクラブからもお手伝いします。

7. 各委員会報告

(1) 例会委員会 岩島副委員長

出席状況報告(前述)

(2) 情報委員会 八木副委員長

特になし

(3) 会員委員会 岡本委員長

新入会員報告(詳細: 6 月例会)

三田 孝子(みた たかこ) 氏

地域奉仕委員会 会員番号 120

推薦者 立川富美代 会員

山形 忠顯(やまがた ただあき) 氏

地域奉仕委員会 会員番号 121

推薦者 永井 昌平 会員

(4) 地域奉仕委員会 土井俊雄委員長

5 月 16 日 健康フェスタがありますが、関係者は本日の名札を持ち帰り、16 日に持参して下さい。

(5) 研修委員会 佐々木正委員長

特になし

8. 交流担当 立川委員

6 月 9 日川崎プロバス 5 周年記念の招待がきましたので、立川全日本プロバス担当が出席します。後日、報告致します。

9. 15周年実行委員会報告

佐々木研吾会員

2010年10月17日(日) 市民会館、エルシイ

○ 記念講演

「宇宙と友だちになろう」

～いのちの大切さと家族のきずな～

宇宙航空研究開発機構 的川 泰宣博士

○ 君に届けたい愛のコンサート

「視覚障害者の音楽家によるコンサート」

～21世紀の青少年に贈るメッセージ～

勝田友彰氏指導

○ 記念講演と懇親会 エルシイ

○ その他の企画

永年会員への謝意、記念品、記念誌発行、クラブPR用パンフレット、日野PC設立支援

10. 同好会報告

歴史を肴に語ろう会のご案内

澤渡 進 会員

テーマ：ゆったりと八王子を散策しませんか？

(八王子歴史探訪－滝山城と多摩の蔵元を訪ねる)

日時 6月17日(木)

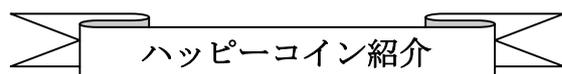
集合 8時45分

JR八王子駅南口 たましん前

行程 「道の駅八王子滝山」会議室にて

- ・ 滝山城 講義 西山富保氏
- ・ 滝山城散策と昼食
- ・ 羽村市郷土博物館
- ・ 五ノ神社
- ・ 石川酒造見学
- ・ 懇親会：福生のビール小屋

会費 8,000円



◆ 野外サロン、宇宙センター、楽しみ

宇宙の話は大好きさ！ 下山邦夫

◆ 楽しいサロン有難う。宇宙の旅に期待で胸がふくらんでいます。

荒 正勝

◆ 5月10日の読売新聞に私のいきざまが紹介されました。光栄です。

塩沢迪夫

◆ 次女がみなみ野でドッグカフェを開いています。満3年で毎日ワンワンとにぎやか、大繁盛しています。おかげさま。ワンちゃんに感謝です。

立川富美代

◆ 昨年7月に心筋梗塞を病んで、9ヶ月振りの4月12日から3日間入院して検査を受けました。結果は何ら異常なしということで御仏に感謝しているところです。

土井俊玄

◆ パソコンを新しくしました。新しいパソコンの門出を祝ってハッピーコインを

宮崎浩平

◆ プロバス春季囲碁大会に優勝しました。

山崎修司

◆ 残念、欠席です。

山崎修司

◆ 今年も年齢を重ねる事が出来ました。永井昌平

◆ 自動車免許更新前の講習では、認知症のチェックも一応パスし、ほっとしています。橋本鋼二

◆ 5月は my wife の birthday 月です。

結婚生活 53年目を迎えました。金婚式の時には happy coin がなかったので、ここであらためて coin を2ヶ入れさせて頂きます。

東山 栄

◆ “ボケないマージャン” ついに馬脚をあらわした。ブービー賞。でもショバ代はもらったよ！

澤渡 進

◆ 本日の野外サロンが楽しく有意義に進められる様希望して。

杉山友一

◆ この度立川会員、永井会員のご推薦をいただきました三田孝子新会員、山形忠顯新会員の今後の御活躍を大いに期待しております。

岡本宝蔵

◆ 5月15日に74歳の誕生日を迎えます。

今年も元気で子供達とゴルフが出来ました。

川村 真

◆ 楽しみにしておりましたが、私用が出来、欠席となりました。今後共よろしく願い致します。

戸田弘文

◆ きょうは楽しい遠足気分。ハッピー、ハッピー

佐々木正

◆ 5月10日69歳の誕生日を迎えました。友人、娘家族から祝っていただき、これからも美しく老いていけたらと思っています。

有泉裕子

◆ 息子2人、嫁の昇格祝いを名目に嫁の実家の家族と一緒に食事会を開きました。

高取和郎

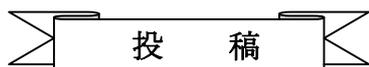
- ◆ 本日の野外サロン欠席致しますが、1月末に申し立てた会社(民事再生)のスポンサ会社が決まり、先の見通しが出て来ました。 竹内賢治
- ◆ 目の中に入れても痛くないかわいい孫娘(2才)に会いにドイツミュンヘンへ行って来ました。成田空港に帰りついた日(4月15日)にアイスランドの噴火が始まり、あやうくトラブルなくまともに帰ってこれました。 岩島 寛

東京日野プロバスクラブ 第1回設立準備委員会の報告

5月25日、日野宿交流館にて、設立準備委員会が開かれました。

- ・クラブ創立10月5日(火)を目標
- ・創立時のクラブ会員数を30名以上としたい
- ・会則について、会員資格、会費、入会金、月例会の日時、役員、総会委員会構成などを討議しました。討議に当たって当クラブの状況を説明し、参考にさせて頂きました。

当クラブからは、杉山副会長、吉田会員が出席しました。今後、毎月準備委員会を開催し、クラブ創立に向かつての準備を進めることになりました。



『ウォーキング』

矢崎 安弘

私は現在、早朝ウォーキングをしている。朝6時30分に家を出て帰宅はおよそ7時45分。コースは、家を出て甲州街道を横切り、南浅川の土手にあるサイクリングロードを西に向かい、御陵橋脇にある陵南公園を目指す。園内を一周して浅川の対岸の散策路を歩き、家に戻る。冬でも汗びっしょりになる。桜が満開の時には、すばらしい眺め、またゴールデンウィークには多数の鯉のぼりが川に渡したロープにつるされ、空に舞っていた。

この「ウォーキング」という言葉を始めて聞いたのはだいぶ前のことで、TVニュースの中で一

般名詞ではなく固有名詞で使われた。私はキョトンとした。ニューヨークのセントラルパークでアメリカ市民がただ歩くだけ、ただし普段の散歩よりやや早く歩くのが流行っているとの報道であった。アメリカ文化の日本への伝播は驚くべきスピードである。あっという間に日本でも広まっていったのである。ただ「歩く」という日本語、或いは「散歩」という言葉ではそうは行かなかったのではないかと思う。それと時を同じくして「ジョギング」という言葉もあっという間に浸透した。「歩く」ということでは、私は69歳の時に四国霊場八十八ヶ所歩き遍路を行った。なんとといっても1,400キロという、とてつもない距離を歩き通すわけだから体力・脚力をつけねばならないということで、出発前の長期間、市民体育館に通って、ランニングボードでトレーニングを積んだ。その時、スピードを時速4キロ、時間を30分に設定した。というのも、お遍路の歩行速度は、早足で時速4キロ、並足で3.5キロ、遅足で3キロ、遍路ころがしのような山道では2キロから1キロ、という解説があったからである。ランニングボードの計器には歩幅が一步一步表示されるので見てみると、普段歩く時より歩幅を広げて歩いたので、60センチ前後であった。現在私が早朝ウォーキングをしているときもこの歩幅である。自分の歩きを科学的に分析したのは初めてである。

ところで、私の「ウォーキング」の最大の目的は、体重の減量である。然し「ウォーキング」には別のメリットがあった。膝関節痛の緩和である。「ウォーキング」を開始した時には、膝関節に少々痛みを感じていたのだが、2~3週間程したら痛みが解消された。何時だったかテレビで膝痛の専門医の話の聞いたら、痛みの原因は、膝関節を支えている筋肉の老化による衰えだそうで、この衰えた筋肉を、軽い運動をすることにより鍛え直すのが良いと勧められており、治した人の事例を紹介していた。まさに私も事例の一人となったわけである。腰痛にも効果があることを期待しつつ、今後とも過度にならない「ウォーキング」を続けて行こうと思っている。

『私の仕事史』

竹内 賢治

社会で職業に就いてから、約60年近くになります。そこで今までの間に職種としては幾つか代わりましたがその節々での思い出話になるようなこと、現代には通用しない、また時代遅れの事も多々あることでしょうか、ある意味で経営の基本的な考え方に合うところがあるかと思ひ人生を振り返って見たいと思ひます。

① 「5年間の新入社員」

1951年伊藤忠商事金沢支店配属になり、以来22年間織物産地として繁栄した金沢支店に在籍しました。

5年間新入社員の配属が無かったことは、朝鮮動乱後、産地の状況が大きく変化し、経験者が必要となり先輩の増強があったからで、決して支店の経営が振るわなかったことではありません。状況の変化とは、当時東レ（東洋レーヨン）が生産を始めた「ナイロン」。その後各社がナイロン、また「ポリエステル」の生産で過去の古い設備では新しい「合成繊維」織物の生産が出来なかったことで、「機屋さん」の設備更新とその後の経営に直接・間接的に関わらざるを得なかったことと、商社としても商品開発に係わるようになったからです。

新入社員は、朝8時前に出社、郵便局私書箱の来簡取り、相場表板の書き換え、時事通信社からの海外株式・商品相場の取材等、帳簿整理・午後1時頃から市内取引先の集金、その後入荷する織物生地の検反、日通の作業員と筵梱包をし、トラック手配と現場作業が終わり、夕方から当日の契約帖から商品別バランス表作成と、仕入れ・売り上げ伝票、請求書、月末には月次決算で徹夜作業、翌朝独身寮から先輩が持ってきた朝食の繰り返しでした。現代のような、電算機・事務機器は無く算盤、手書き帳簿で生産性の低い作業でした。しかし、作業・取引条件等の合理化は面白いほど効果的でした。毎日手書きの荷札作りを、小型謄写板で刷りあげる。織物出荷を日通1社からトラック会社2~3社との交渉、小口扱いを1車貸し切りにする事で割安になったこと。

当時の支店長はお酒が飲めなく、麻雀以外には興味が無かったことから、金沢の御茶屋さんとの付き合いは無かったようです（前任者は付き合いが善かった？）しかし、お茶屋さんとの付き合いも大事です、

そこで毎年暮れには社員（男性12~13名）で芸者との夕食会をして貰いました。一年間の罪ぼろしで12時頃までの花代を払っているから食事のあと一晩芸者と映画でも見てこいと言われましたが、映画の後の過ごし方が分からず、今になれば惜しいことをした思いもあります。（しかし、当時付き合いのあった2名の年頃も同じ元芸者さんとは今でも、家内を含めた付き合いがあります）

新入社員としての期間が永かった事で与えられた仕事には誰も分からない、出来ない事を多く身につける事もできました。現場での苦労は後々有意義なものになっています。朝鮮動乱後の経済状況は決して思わしいものでは無く、多数の中堅機業場の倒産が続きました。当時原糸課が糸を売り、織物課が製品を買い上げる方式でした。機屋さんが倒産すると受取手形は不渡りになるが、当方の支払手形は落とさなければならない。何とも不合理な取引を改める事が出来ないか、原料は織物課が原糸課から買い取り、機屋さん原料供給の委託加工に改めて貰いました。しかし、当時会社には委託加工の制度がなかったため、商業簿記を工業簿記帳票に一部を改め加工伝票方制度を作り上げ、不良債権の発生に対処しました。（この方式は当時金沢支店のみ認められた制度ですが十数年後の繊維構造不況時には大きな効果を上げました）会社内での権限・責任を重んじた会社ですが、損覚悟の挑戦でも理にかなっていると相当の金額を認められたものでした。

このことは将来、やりたいことをさせて貰い自慢話になることが多く出来ました。（次回に続く）

編集後記；

今月の『プロバスだより175号』は私の処女作です。情報委員会の皆様いろいろアドバイスを有難うございました。情報委員会 阿部 幸子